



## CDP の設定

---

この章では、Catalyst 4500 シリーズ スイッチ上で Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル) を設定する方法について説明します。設定上の注意事項、設定手順、および設定例についても示します。

この章の主な内容は、次のとおりです。

- CDP の概要 (p.24-2)
- CDP の設定 (p.24-2)



(注)

この章のコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の URL のマニュアルを参照してください。

『Cisco IOS Configuration Fundamentals Configuration Guide』 Release 12.4

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124cr/hcf\\_r/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124cr/hcf_r/index.htm)

『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』 Release 12.4

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124tcr/tcf\\_r/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124tcr/tcf_r/index.htm)



(注)

この章のスイッチ コマンドの構文および使用方法の詳細については、『Catalyst 4500 Series Switch Cisco IOS Command Reference』 および次の URL の関連マニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios122sr/cr/index.htm>

## CDP の概要

CDP は、すべてのシスコルータ、ブリッジ、アクセスサーバ、およびスイッチ上のレイヤ 2（データリンク レイヤ）で動作するプロトコルです。CDP を使用すると、ネットワーク管理アプリケーションで、既知のデバイスに近接しているシスコ製デバイス、特に下位レイヤのトランスペアレント プロトコルを実行している近接デバイスを検索できます。また、近接デバイスのデバイス タイプと SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）エージェント アドレスも学習できます。さらに、CDP によって、アプリケーションから近接デバイスに SNMP クエリーを送信することもできます。

CDP は、Subnetwork Access Protocol (SNAP) をサポートしているすべての LAN および WAN メディア上で稼働します。

CDP を設定した各デバイスは、マルチキャスト アドレスに対して定期的にメッセージを送信します。各デバイスは、SNMP メッセージを受信できるアドレスを少なくとも 1 つアドバタイズします。このアドバタイズには、受信側デバイスで CDP 情報を廃棄せずに保持しておく時間を表す Time To Live (TTL; 存続可能時間) またはホールドタイム情報も含まれます。

## CDP の設定

ここでは、CDP の設定手順について説明します。

- [CDP のグローバルなイネーブル化 \(p.24-2\)](#)
- [CDP のグローバル設定の表示 \(p.24-2\)](#)
- [インターフェイス上での CDP のイネーブル化 \(p.24-3\)](#)
- [CDP インターフェイスの設定の表示 \(p.24-3\)](#)
- [CDP のモニタリングおよびメンテナンス \(p.24-4\)](#)

### CDP のグローバルなイネーブル化

CDP をグローバルにイネーブルにするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch(config)# [no] <b>cdp run</b>	CDP をグローバルにイネーブルにします。  CDP をグローバルにディセーブルにするには、 <b>no</b> キーワードを使用します。

次に、CDP をグローバルにイネーブルにする例を示します。

```
Switch(config)# cdp run
```

### CDP のグローバル設定の表示

CDP の設定を表示するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch# <b>show cdp</b>	グローバルな CDP 情報を表示します。

次に、CDP の設定を表示する例を示します。

```
Switch# show cdp
Global CDP information:
  Sending CDP packets every 120 seconds
  Sending a holdtime value of 180 seconds
  Sending CDPv2 advertisements is enabled
Switch#
```

その他の CDP **show** コマンドについては、「[CDP のモニタリングおよびメンテナンス](#)」(p.24-4) を参照してください。

## インターフェイス上での CDP のイネーブル化

特定のインターフェイス上で CDP をイネーブルにするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch(config-if)# [no] cdp enable	特定のインターフェイス上で CDP をイネーブルにします。  特定のインターフェイス上で CDP をディセーブルにするには、 <b>no</b> キーワードを使用します。

次に、インターフェイス FastEthernet 5/1 上で CDP をイネーブルにする例を示します。

```
Switch(config)# interface fastethernet 5/1
Switch(config-if)# cdp enable
```

次に、インターフェイス FastEthernet 5/1 上で CDP をディセーブルにする例を示します。

```
Switch(config)# interface fastethernet 5/1
Switch(config-if)# no cdp enable
```

## CDP インターフェイスの設定の表示

インターフェイスの CDP 設定を表示するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch# show cdp interface [type/number]	CDP がイネーブルに設定されているインターフェイスの情報を表示します。

次に、インターフェイス FastEthernet 5/1 の CDP の設定を表示する例を示します。

```
Switch# show cdp interface fastethernet 5/1
FastEthernet5/1 is up, line protocol is up
  Encapsulation ARPA
  Sending CDP packets every 120 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Switch#
```

## CDP のモニタリングおよびメンテナンス

装置上の CDP をモニタリングおよびメンテナンスするには、次の作業を 1 つまたは複数行います。

コマンド	目的
Switch# <code>clear cdp counters</code>	トラフィック カウンタを 0 にリセットします。
Switch# <code>clear cdp table</code>	近接デバイスに関する情報を収めた CDP テーブルを削除します。
Switch# <code>show cdp</code>	送信の頻度、送信されたパケットを保持する時間など、グローバルな情報を表示します。
Switch# <code>show cdp entry entry_name</code> [ <code>protocol</code>   <code>version</code> ]	特定の近接デバイスに関する情報を表示します。プロトコル情報またはバージョン情報に表示を限定できます。
Switch# <code>show cdp interface [type/number]</code>	CDP がイネーブルに設定されているインターフェイスの情報を表示します。
Switch# <code>show cdp neighbors [type/number]</code> [ <code>detail</code> ]	近接装置に関する情報を表示します。特定のインターフェイス上の近接デバイスに関する情報に表示を限定することも、より詳細な情報を要求することもできます。
Switch# <code>show cdp traffic</code>	CDP カウンタ (送受信されたパケット数およびチェックサムエラーを含む) を表示します。
Switch# <code>show debugging</code>	スイッチでイネーブルに設定されているデバッグのタイプに関する情報を表示します。

次に、スイッチの CDP カウンタ設定をクリアする例を示します。

```
Switch# clear cdp counters
```

次に、近接装置に関する情報を表示する例を示します。

```
Switch# show cdp neighbors
```

```
Capability Codes: R - Router, T - Trans Bridge, B - Source Route Bridge  
S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater
```

Device ID	Local Intrfce	Holdtme	Capability	Platform	Port ID
JAB023807H1	Fas 5/3	127	T S	WS-C2948	2/46
JAB023807H1	Fas 5/2	127	T S	WS-C2948	2/45
JAB023807H1	Fas 5/1	127	T S	WS-C2948	2/44
JAB023807H1	Gig 1/2	122	T S	WS-C2948	2/50
JAB023807H1	Gig 1/1	122	T S	WS-C2948	2/49
JAB03130104	Fas 5/8	167	T S	WS-C4003	2/47
JAB03130104	Fas 5/9	152	T S	WS-C4003	2/48